

別 紙

2018 ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ警備業務 業務仕様書

1 事業概要

(1) 業務名

2018 ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ警備業務

(2) 業務目的

UCI公認の国際サイクルロードレース 2018 ツアー・オブ・ジャパン京都ステージを開催するに当たり、Tour of Japan 組織委員会（事務局：一般財団法人日本自転車普及協会）や警察等の各関係機関と調整し、計画中の警備計画に沿って大会が円滑に実施できるよう実行委員会に協力し、警備計画を補完・完成させるとともに、警備員の手配、大会に関わる必要な準備・後片付け等を行う。

(3) 業務期間

契約締結日～平成 30 年 5 月 31 日

(4) 内 容

ア ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ・レース開催日時

平成 30 年 5 月 21 日（月）9 時 20 分頃～13 時頃

イ 会 場

セレモニーラン：京田辺市普賢寺ふれあいの駅～同志社大学～普賢寺小学校前

レ ー ス：普賢寺小学校前～精華町けいはんなプラザ（周回コース）

(5) 目標観客動員数

52,500人以上（観客は8時前から参集）

2 委託業務内容

(1) 警備計画の作成等

警備計画の補完・完成。

- ・発注者の要請に応じ、情報共有等のために、各種会議（にぎわい・おもてなし部会、競技部会、広報部会、交通安全対策会議等）に出席するとともに、発注者と随時、協議すること。

(2) 警備員の手配、交通安全対策資材の設置等

警備計画に基づき、大会前日及び当日、必要な警備員の手配や交通安全対策資材の設置等を行う

- ・警備計画に基づき必要な警備員を確保し、大会当日、現地に配置するとともに、大会本部（けいはんなプラザ周辺）に設置する警備本部との連絡体制を整えること。（20回(2017)大会：260名）
- ・ボランティアに対する指示を行うとともに、事前にボランティアに対して行う説明会には必要に応じて出席し、業務内容を説明すること。（20回(2017)大会：229名）
- ・設營業務受注業者又は大会実行委員会が、大会前日に分散して置いておく交通安全対策資材（カラーコーン等）について、警備員やボランティアと共同して当日9時までには設置すること。
- ・大会終了後、設置した交通安全対策資材を撤去し、元の場所に置いておくこと。
（回収は設置業務受注業者あるいは大会実行委員会が実施）
- ・けいはんなプラザ周辺は前日からテント等を設置しているので、前日夜間の警備を行うこと。（20回(2017)大会：3名）
- ・スタート地点及びゴール地点の駐車場（数箇所程度を想定）、臨時バスの停留所（3箇所程度）への誘導、警備を行う人員を配置すること。

（3）警備本部の設置・運営

大会当日、大会本部と連携できるよう警備本部を設置し、大会の円滑な運営に協力する。

- ・警備本部と各地に配備した警備員との連絡体制を整え、問題が発生したときなど、警備本部から各警備員への指示が行えるようにすること。（20回(2017)大会：広域無線機30台）
- ・レース走行車列の先頭及び最後尾に警備車両を配置すること。（運転者含む）
- ・上記警備車両の走行位置をリアルタイムで把握し、警備本部がその位置を常に確認できる手段を講じるとともに、大会本部とも情報共有できるよう図面等に示すこと。